

# 令和 4(2022)年度 第2回上三川町地域公共交通活性化協議会 議事概要

- 1 開催日時 令和 5(2023)年 1月 25日(水) 午前 10時 30分 ~ 11時 30分
- 2 開催場所 上三川町役場 3階 中会議室
- 3 出席者 会長ほか委員10名(うち代理出席者2名) 欠席 1名

## 議事要旨

- 1 開会
- 2 会長あいさつ
- 3 (1)かみたん号運行に関するアンケートの結果について(報告)

資料1に基づき、アンケート調査結果について事務局から報告

### ○主な質疑及び意見

委員 : 1市2町相互利用についてアンケート等の共有はしているか。

事務局 : 現在はアンケート内容等の共有はしていない。今後、下野市の眼科に行きたいという要請など強くみられているので、そういった点などを他市町で連携したい。

委員 : 他市町の住民に向けても、上三川町のかみたん号が使えることをアピールして行ってほしい。

委員 : 相互利用として、どれくらいの方が利用しているか。

事務局 : かみたん号を利用する町外者は、約2.5%でジョイフル本田やインターパーク、病院のほか絵画教室に通ったりなどで使われている。下野市のおでかけ号を利用する上三川町民等の下野市外者の利用は、接骨、整骨医院や眼科通院などで見られている。

委員 : いままで土日祝日を運行していない理由はなぜか

事務局 : かみたん号が運行した当初、主な目的は高齢者の通院のための交通手段とされ、高齢者の土曜日の通院等は、同居する家族が自家用車を出してくれる事が想定された。同居家族がお勤め等で自家用車の出せない平日のみの運行としていたところである。しかし、ライフスタイルの変化、例えば核

家族化等により、土曜日の通院が困難な高齢者が増加し、同じ理由等で食品や日用品の買出しが困難なケースも聞かれていることから、土曜日運行については、検討していかないと考えている。

委員 : 今回アンケート回答者のうち47名が、かみたん号を利用して、その感想を回答していただいているところだが、実際に乗車している方の声をもっと聞いてみてはどうか。また、民生委員などに、利用者から、かみたん号への要望等が入っているかもしれない。病院から病院への移動ができなくて困ったという声や、軽度の障がいを持っている方が単独で乗車できないという声も聞こえてきている。利用者やその周辺からの声をもっと拾うよう努めてほしい。

## (2)地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について(協議) 資料2

資料2に基づき説明し、承認

### ○主な質疑及び意見

委員 : 今回の目標は、年間の延べ利用者数を掲げているが、かつての指標であった1日当たりの利用者数ではどうか。

事務局 : おおよそ62人/日となっている。かつては75人/日を掲げていたが、実現可能性の高い数字を見込ませていただいている。

## (3)地域公共交通活性化協議会の委員について(協議) 資料3

資料3に基づき説明し、承認

### ○主な質疑及び意見 特になし

## (4)その他

委員 : かみたん号は、小学生は子ども料金で、中学生は大人料金となっている。中学生はまだ義務教育期間であることから、子ども料金とはできないか。

事務局 : かみたん号の目標とする収支率にどれだけの影響を与えるかや、他市町や他公共交通機関とのバランスなどを踏まえて今後検討する。

その他、かみたん号運行開始10周年記念事業についての案内実施

## 4 閉会